

教育長メッセージ ～保護者・ご家族・地域の皆様へ～

保護者・ご家族・地域の皆様におかれましては、日頃から本市の学校教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年の夏は猛暑というよりは、むしろ「酷暑」となり、9月になってもその勢いは収まりませんでした。そのような中でも、子供たちは室内での生活を工夫したり、それぞれの役割を果たしたりして、よく頑張りました。

ご家庭には、それぞれ「通信票(学校と家庭のれんらく)」が届いたと思いますが、子供たちが一喜一憂に終わることなく、保護者・ご家族の皆様が良かった点や頑張った点を見つけ、継続的に励ましていただいたと思います。また、子供自身から「もっと頑張りたい」「今度はこうしたい」という言葉を引き出せたら、今後の子供たちの成長が大いに期待できます。

**令和4年度のスポーツテストで
5年生女子が全8種目で
全国平均を上回る！**

体力・運動能力調査(スポーツテスト)におきましては、大崎市の子供たちは、どの種目も好成績を収めました。これも、大崎市スポーツ指導者研修会等を通して、児童生徒の実態に即した適切な指導によるものと捉えております！

学力向上推進においても、学力向上マネジメント支援事業の指定を受けて3年目となり、大崎市学力向上PDCAサイクルを循環して少しずつ成果となって表れています。全国学力・学習状況調査におきましては、全国との乖離が縮んできております！

**令和5年度全国学力・学習状況調査
全国とのかい離縮まる！
あと一步の努力！！**

教育委員会といたしましては、今後もさらなる推進を図るべく、学力向上に関しては、大崎市学力向上『**1・2・3運動**』として、「アウトメディアチャレンジ」を生かしつつ、各家庭と連携を図りながら下記のような取組を推進してまいりたいと考えております。

<大崎市学力向上「**1・2・3運動**」>

- 1… 「**1**人1人に目を向ける(個別最適な学び)」
- 2… 「**2**人以上の学び合いの場をつくり、意欲を高める(協働的な学び)」
- 3… 「**30**分プラスの家庭学習」「あと**3**問課題に挑戦、調査問題でプラス**3**問！」

これにより、日々の授業改善に努めるとともに、児童生徒の学びに向かう力を高め、当面の目標として12月に実施予定の標準学力調査における児童生徒の学力アップを掲げております。

本年度もいよいよ折り返しとなります。これからも「明日も行きたくなる学校」を目指し、生き生きと学びに向かう子供に育つよう取り組んでまいりますので、保護者・ご家族・地域の皆様におかれましても、2学期も、様々な点から学校を応援していただき、ご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

授業 × 家学



おおさき学力向上プロジェクト

大崎市教育委員会

子供たちの学びを支える、学校と家庭の連携を目指して

令和5年度全国学力・学習状況調査では、これまでの取組の成果が表れ、正答率において全国との乖離が小さくなりました。大崎市では、子供たちの学びを支え、学校と家庭が一体となり、子供たちの学力向上を目指していけるよう、プロジェクトをスタートします。



学校では 授業改善

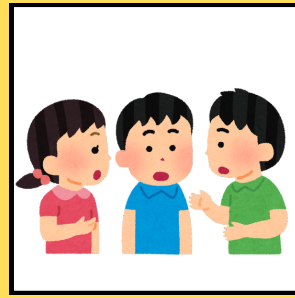
授業改善を通して目指す「学びの姿」



- ・自分で考え、進んで取り組む
- ・見通しを持って取り組む
- ・振り返って、次の学習につなげる



- ・工夫して、発表・発言する
- ・多様な情報を収集し、整理する
- ・多様な方法で説明する



- ・話し合いなどで考えを深める
- ・様々な考えを結び付ける
- ・新たな考えを創造する

「学びの姿」実現のために

このような活動を授業の中に取り入れていきます

情報を整理し、正しく理解する活動

思考を深める活動

自分の考えを表現する活動

他者と学び合い協働する活動

たしかめ活動 チャレンジ活動

一人一人の子供に目を向けた学習支援と、協働による学び合いを推進し、授業改善を図ります。



協働による学び

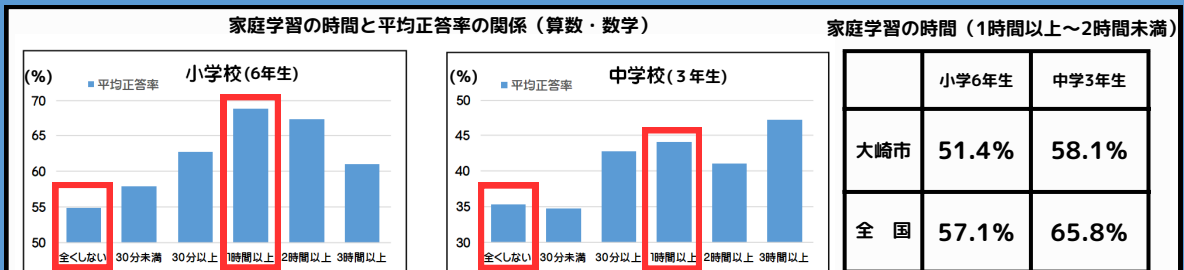


ICT機器の活用

家庭では 生活改善

子供の学びを支えるために家庭で大切にしてほしいポイントをまとめました。家庭で話題にしていただきながら、子供が学習に向かう姿勢を育てていきましょう。

学習時間を確保しましょう



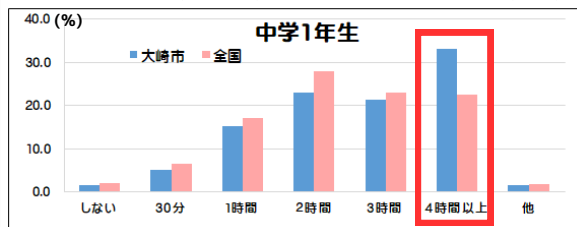
令和5年度「全国学力・学習調査質問紙調査」より

家庭でも子供が自ら学習に向かう環境を整えましょう。学習時間を一定時間確保することと、平均正答率の高さとの間には相関関係があることがわかっています。家庭学習を毎日継続していくためにも、ご家庭での励ましと、子供が学習に向かえる環境づくりが大切です。

時間の使い方を見直しましょう



テレビや動画の視聴、ゲーム、インターネットの利用時間（平日）



令和5年度総合質問紙「i-check」より

メディアの適切な利用の仕方や時間（メディアコントロール）について、各家庭でルールを決めましょう。ルールは子供も納得するように一緒に考えることが大切です。

家庭での時間の使い方を見直し、規則正しい生活習慣と学習習慣を身に付けることが大切です。

R5・10月～R6・3月実施

家庭と学校で

学力向上

①

②

③

運動



学校で

①

1人1人に目を向ける（個別最適な学び）

子供の興味・関心に応じた学習教材、学びの場を提供することで、子供の主体的な学びになるよう育みます。

学校で

②

2人以上の学び合いの場をつくる（協働的な学び）

複数の子供同士で協働する機会を取り入れ、自分とは異なる考え方に触れながら、学びを深める学習を推進します。

家庭で

③

30分プラスの家庭学習時間、『あと3問』への挑戦！

「メディアコントロール」を実践し、家庭学習で「+30分」「あと3問」課題に挑戦し、各種調査問題において正答数「+3問」を目指します。